令和８年度

海洋無人機（海洋ドローン）官民プラットフォーム

第１回

議事次第

令 和 ８ 年 １ ０ 月 ２ ９ 日 （ 木 ）
１ ５ 時 ０ ０ 分 ～ １ ７ 時 ３ ０ 分
ビジョンセンター新橋　1702会議室／
Teams（ハイブリット形式）

１．開会

２．海洋無人機（海洋ドローン）官民プラットフォームについて

３．利用実証試験の計画（戦略的重要技術）

3-1. 海底設置型ステーションを基点とした海洋ドローン運用実証（川崎重工業株式会社）

3-2. 海中電波通信による海洋ドローンとの高速データ伝送と遠隔操縦による海中構造物点検の実証（国立大学法人九州工業大学）

3-3. 実稼働3MW 浮体式洋上風力を活用した小型海洋ドローンによるスマートO&M実証（株式会社グローカル）

４．利用実証試験の計画（基本計画策定）

4-1. 海洋ドローン等を活用した洋上風力発電施設保守点検サービスの事業化基本計画の策定（いであ株式会社）

4-2. 洋上風力発電施設の水中O&M における海洋ドローン活用基本計画の策定（川崎重工業株式会社）

4-3. 海洋ドローンを活用した洋上風力発電施設維持管理の社会実装モデル及び基本計画の策定（東洋エンジニアリング株式会社）

５．海洋無人機（海洋ドローン）社会実装状況調査

６．その他

７．閉会

配布資料一覧

資料１　　海洋無人機（海洋ドローン）官民プラットフォームについて

資料２　　海洋無人機（海洋ドローン）官民PFの検討にあたって

【戦略的重要技術】
資料３－１　利用実証試験の計画（川崎重工業株式会社）
資料３－２　利用実証試験の計画（九州工業大学）
資料３－３　利用実証試験の計画（株式会社グローカル）

【基本計画策定】
資料４－１　利用実証試験の計画（いであ株式会社）
資料４－２　利用実証試験の計画（川崎重工業株式会社）
資料４－３　利用実証試験の計画（東洋エンジニアリング株式会社）

資料５　　今後の方向性の検討